

一人一台の情報端末を利活用して目黒区が目指すこと

学習指導要領の着実な実施とICT機器の活用により、カリキュラム・マネジメントを充実させ、発達の段階に応じて、全ての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現させる。

- ①児童・生徒は、学びを進めていく中で、問題解決のために情報端末活用の必要性を感じ、解決のために適切なツールを選択し活用することができる。【児童・生徒】
- ②教員は、情報端末を手段として「いつでも」「どこでも」「だれとでも」という視点を持ち、児童・生徒の学びをデザインすることができる。【教員】

学習用情報端末 iPad の活用

Anytime (いつでも)

情報端末を日常的に活用して、授業中の様々な場面の情報収集や、思考したことを表現するなど、「いつでも」学ぶことができます。



- 検索サイトを活用した調べ学習
- 文章作成ソフト、プレゼンテーションソフトの利用
- 各教科における授業での活用
 - ・国語科：段落を入れ替えて構成を工夫
 - ・社会科：各地の生産者等にインタビュー
 - ・体育科・保健体育科：スローモーション撮影し、動きの確認

Anywhere (どこでも)

LTE通信を生かし、学校内だけではなく場所を選ばず、校外や自宅など、「どこでも」学ぶことができます。



- 場所を選ばない学習
 - ・校外学習：生活科見学で見つけた動植物の撮影
 - ・自然宿泊体験学習：しおりのデータ化、事後学習に活用する画像・動画の撮影
- 一人ひとりの学習状況に応じた個別学習
 - ・eラーニングを活用した家庭学習（予習・復習）

With anyone (だれとでも)

アプリケーションを用いて児童・生徒同士で協働的に活動したり、オンライン会議システムで遠隔地とつないだりなど、「だれとでも」学ぶことができます。



- クラスメイトとつながる
 - ・アプリケーションを用いた協働的な学び
- 外部とつながる
 - ・修学旅行先で交流する学校と事前・事後学習にて交流
 - ・オンライン会議システムを活用して、遠隔地の工場や資料館等の見学や、生産者への質問

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

個別最適な学びの実現

協働的な学びの実現

基礎的・基本的な知識・技能や言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力の確実な育成

※情報活用能力…情報を取得し、整理・比較、発信・伝達、保存・共有する力やプログラミング的思考、情報モラル、情報セキュリティ、統計等に関する資質・能力等を指す。

家庭等との連携	教員のICT活用能力の向上	ICT環境の整備
<ul style="list-style-type: none"> ○不登校、病気療養等の児童・生徒への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン授業配信による学習保障 ・「eライブラリ」の活用による、学習保障及び個別最適な学びの実現 ○家庭との連携による児童・生徒への指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭での情報端末の利活用 ・家庭内での利用ルール設定 	<ul style="list-style-type: none"> ○各種研修の実施、参加 <ul style="list-style-type: none"> ・教育指導課主催研修への参加 ・校内研修及び校内OJTの計画と実施 ・ICT活用推進リーダーブロック連絡会での情報共有 ・各学校に配置するGIGA支援員による支援 ○授業準備の効率化と児童・生徒への指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・課題のデータ提出(ペーパーレス化)による業務軽減 ・スタディログ等の教育データの活用 ・教材データの蓄積と共有による授業準備の効率化 	<ul style="list-style-type: none"> ○時間的空間的な制約のないICT環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・持ち運びやすく、起動が早い端末の導入 ・LTE通信の整備 ・様々な学びに必要なアプリケーションの導入 ・安心して使用できるセキュリティ環境の導入 ・デジタル教科書の導入 ・クラウド活用 ○人的支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ICT支援員とGIGA支援員の各学校への配置